

## 「国民投票法案」（改憲手続き法案）を成立させていいの？

安倍首相は、通常国会で憲法改正（憲法改悪）のための国民投票法案を成立させると語りました。

昨年来、政府与党と民主党との間で修正協議が進められてきましたが、この法案の問題点が払拭されたわけではありません。

安倍首相がはっきりと憲法を変更するための一里塚としてこの法案を位置づけている以上、私たちは、この法案の成立を受け入れることはできません。

この法案の問題点を「許すな！憲法改悪・市民連絡会」の作成したパンフレットより抜粋してお知らせします。

この法案の成立に反対する世論を広めるとともに、民主党、公明党などこの法案の成立に手を貸そうとしている勢力に対し、反対の声を届けていきましょう。

**こんな本も出ています！  
読んでみてください！**



「自分の国」を問い続けて

ある指紋押捺拒否の波紋

(岩波ブックレットNo.525)

崔 善愛著

日本生まれ、日本育ちの崔善愛さんは、牧師を父に持つ韓国人一家の娘として家族の愛に包まれ、ピアニストへの夢を育みながら少女時代を送ったが、家の外では、彼女たちの存在を軽んじ、縮み込ませるような日本社会の空気を浴びつつ成長しなければならなかった。21歳の時の外国人登録に伴う指紋押捺に際して、「これに従い続けることは、これからの子ども達にもっと深い傷を残していくだろう」と気付いて、彼女は、押捺を拒否した。そのため行政から告発され、以来20年に及ぶ裁判が続く。夢を果たすための留学を終えたときには、日本への再入国が不許可となり、その取り消し訴訟も起こさねばならなかった。本書は、